

第五回音響技術者のための 邦楽セミナー「三味線」

今回のテーマは、日本の伝統楽器として誰でも知っている「三味線」を取り上げました。よく知っている楽器「三味線」ですが、あなたはこの楽器をどれだけ知っていますか？また、どれだけ聞いたことがありますか？

今回の講師である、三味線やそすけ先生の《ホームページのご挨拶》にこのような一行があります。「三味線の音色は世界に二つとない、日本独特の味のある響き…でも今では、日常的に三味線の生演奏を耳にする機会など滅多になく、せつかく日本人でありながら、三味線音楽の魅力に出会わないまますごしている人々がゴマンという。……実にもったいない。」その通りだと思います。

今回の邦楽セミナーは、三味線をいろいろな角度から検証し、その魅力を正しく理解してもらうために企画しました。

日時

2008年3月3日(月)

10:00受付開始 10:30セミナー開始

16:30終了予定(途中休憩有り)

場所

名古屋市青少年文化センター

7F第一スタジオ(ナディアパーク内)

講師

三味線やそすけ師(写真)

江戸末期から続く邦楽・邦舞家の家に生まれる。

東京芸術大学邦楽科を卒業し、長唄の三味線弾きとして研鑽を積む。その後舞踊やフラメンコ・創作オペラ・人形劇などとの創作競演を重ね、三味線の新たな芸域を開拓する。

- ・CD「やそすけでござる」[miriadia] ・NHK-TV「邦楽百選」、NHK-FM「今日の邦楽」など出演
- ・84名古屋都市文化奨励賞受賞、99(社)日本演劇興行協会奨励賞受賞
- ・01カンヌ国際映画祭ウェブフィルム部門グランプリ作品「藪の中」の音楽を担当

船橋靖和氏(船橋楽器資料館館長)

1937年愛知県生まれ。高校時代に都山流尺八を学び、20歳前に津軽三味線の道に入る。30代より日本民謡研究会「蝶場会」を主催し、実演家・指導者となる。一方で三味線の演奏法や日本への伝搬ルート・歴史に興味を持ち、独力で世界を回り、弦楽器を中心に約1300点の民族楽器を蒐集し、自費を投じて博物館「船橋楽器資料館」を開設。

犬塚裕道氏(ステージヴァンガード)

音響デザイナーとして日本舞踊、邦楽の舞台音響・録音等数多く経験する。

1級音響技術者、1級技能士(舞台機音響調整音響調整作業)

セミナー内容

第一部基礎講座～三味線のルーツを尋ねて

第二部専門講座～三味線を捉える

(三味線の種類・演奏法と音色・音響処理)

お問い合わせ先:090-1410-4094 または下記中部支部メールアドレス

お申し込み先:SEAS中部支部事務局 chubu@seas.or.jpまたはFAX.052(409)4580

受講料:3150円、学生1575円(会員無料) 受講者は事前に申し込み下さい。

協力:(有)ザ・イアーズ(音響システム)

協賛:株式会社イーブイアイオーディオジャパン 株式会社エーアンドブイ

不二音響株式会社 パナソニックSSマーケティング株式会社 ヤマハ株式会社

主催:有限責任中間法人 日本音響家協会 中部支部 <http://www.seas.or.jp>

